

臨床研究情報

当院で早期胃癌に対する内視鏡治療を受けられた患者さん・ご家族様へ
ご協力をお願い

NTT 東日本関東病院消化管内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

上皮性胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）にて水平断端陽性となった病変に対する再 ESD の安全性と有効性に関する検討

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 消化管内科

研究責任者

飯田敏史、大園研

研究の意義と目的

現在、国内の診療ガイドラインでは ESD 後の病理検体にて水平断端陽性となった場合には、追加手術治療、アブレーション、経過観察、再 ESD が選択肢として提示されている。しかし、現在まで再 ESD の治療成績や安全性等に関する報告は限られている。今回、当科での上皮性胃腫瘍に対する ESD にて水平断端陽性となった病変のうち、再 ESD を試行した症例を後方視的に集積し、それらを解析することにより、治療成績と安全性を評価する。

対象となる方

2014 年 1 月 1 日から 2024 年 4 月 30 日までに当院で早期胃癌に対する治療を受けられた方。

実施方法

当科での上皮性胃腫瘍に対する ESD にて水平断端陽性となった病変のうち、再

ESD を試行した症例を後方視的に集積、解析し主要評価項目、副次評価項目を検討する。

実施期間

2014 年 1 月 1 日 ～ 2024 年 4 月 30 日

個人情報の取り扱い

名前などのプライバシーに関わる情報はこの研究の結果に関わるデータの解析や研究会・論文などに報告される場合にも、一切使用しない。登録においては個人を特定しうる氏名・生年月日・患者 ID 番号などは使用せず、匿名化した上で当科が管理するデータベースに記録・保管する。

本研究のために入力した電子媒体には、外部から遮断されたコンピュータの外付けハードディスクあるいは USB メモリーで管理する。電子媒体には個人を特定できる情報を入力せず、連結可能匿名化のために付与した番号を入力する。

費用

追加費用は無し。

利益相反

開示すべき利益相反は無し。

同意の撤回

本人もしくは代理人により申請があった場合には、同意の撤回が可能である。しかし、すでに解析を終えている場合には、その結果を破棄することは出来ない。同意を撤回しても、治療に不利益を受けることは無い。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 消化管内科 飯田 敏史

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111 (代表)